

すべて女性の手で運営されたイタリアでの国際女子ホッケー・トーナメント。むりやり女子役員を集めたのではなく、ごく自然にこうなったただけなのです。

この夏、イタリアの古都パドバで初めて行なわれたフィールド・ホッケーの女子インター・ネーションズ・カップ・トーナメントは、インター・コンチネンタル・カップ大会への出場権をかけた大会である。上位7チームが出場権を獲得し、さらに、インター・コンチネンタルでも上位に入れば、4年に一度開かれるホッケーの世界選手権「ワールド・カップ」に出場できる。

この大会の決勝で、日本チームは強敵・中国を破って優勝した。日本のホッケーの歴史は80年を越すが、男女を通じて国際トーナメントで優勝したのはこれが初めて。男子がどうしてもできなかったことを、女子が堂々とやりとげたのだ。

決勝の日、非番の私は審判たちのために用意されたスタンドの予約席に座った。建て前としてはここは「中立席」である。だが、世界の16カ国からやってきたジャッジやアンパイア仲間たちは「レイ、遠慮しなくていい。大きな声で応援しなさい。誰だって自分のチームにはそうする権利がある」という。好意に甘えて70分間を叫び続け、試合後は日本チームの一人一人を抱きしめて喜びあった。みんないい子だし、しかも強いし、あんなにうれしかったことはない。

同じようにうれしかったのは、16カ国のホッケー仲間と仲よしになれたことだ。

TD（技術代表）からジャッジ、アンパイア、各部門の運営責任者にいたるまで、日本とちがってすべて女性。それも、女子の大会だからむりやり女子役員の員数を合わせた、などというのではなく、ホッケーが

好きで好きでたまらない、ブレイヤーとしてはもう無理だが（私もその一人だ）このすばらしいスポーツにいつまでもかかわってみたい、という人たちがごく自然に集まったらこうなった、そんな感じだった。

みんな有能ですてきな女性ばかり。TDにいたっては無言のうちリーダーシップを発揮し、風格、真実さえ備えている。フェミニズム（女性解放運動）でそうなのではない。要するに仕事ができホッケーが好きで、その結果、当然のこととして国際ホッケー連盟の要職についた、という人たちである。山のような仕事をさばっていく手際のよさは、ほんとうにほれほれするくらいだった。

そしてもうひとつ。7、8位決定戦は地元イタリアがベルギーに勝ち、ギリギリのところまでインター・コンチネンタルへの出場権を獲得した。イタリアの選手たちはうれし涙にくれつつフィールドからひきあげてきたが、そこに10歳くらいの女の赤ちゃんがヨチヨチと近づいてきて、一人の選手に「マンマ」ととびついた。マンマは盛大に泣いているのに、赤ちゃんの方は、再び母親をわが手に取り戻したうれしさにニコニコしている。泣いているマンマの手を、自信に満ちて引いてやっているバンビーナ（赤ちゃん）。泣き顔も笑顔もすばらしく美しい、ああ、いい風景を見た。ホッケーをやっているだけでよかった、と心から思った。

△させい/V日本ホッケー協会審判委員会委員。日本で唯一のホッケー国際大会女子ジャッジ（上級審判）経験者。昭和8年、東京生まれ。

技術と実績。信頼されるコートづくり。



有明コロシアム（パナソニックアリーナ）

●パーフェクトコート

アクリル系サーフェースの経済的なコートです。現在最も普及しています。

●ハイクッションコート

フレン系弾性に富む高級コートです。透水型と非透水型があります。

●パーフェクトクレイ

雨にも強く、霜にも強い…。維持管理の楽な準全天候型クレイコートです。

企画・設計・施工



日本舗道株式会社

本社：〒104東京都中央区京橋1-19-11
☎(03)563-6761

北海道支店 ☎(011)842-8866 東北支店 ☎(022)262-1518 関東第1支店 ☎(03)471-8371 関東第2支店 ☎(03)837-0452 北信越支店 ☎(025)244-8126
中部支店 ☎(052)211-6581 関西支店 ☎(06)942-6123 四国支店 ☎(0878)62-1155 中国支店 ☎(082)246-8321 九州支店 ☎(092)771-0266